

アプローチ まちの「仕次ぎ」 ☆ NEXT-100

本計画期間中、市制施行100年を迎える本市にあっては、これまでの確かな歩みをさらに進めながら、次の100年にも想いを馳せなければなりません。100年を超える泡盛の古酒(クース)は、熟成された古酒に少しずつ新たな酒を加えていく丁寧な「仕次ぎ」により、その芳醇な香りとまろやかな風味を後世に引き継いできました。まちづくりも同様に、伝統の中にも新しい仕組みを取り入れ

ることが、まちにさらなる輝きと風格を生み、次世代へ引き継ぐことができると考えます。次世代の笑顔が輝く那覇市になるよう、まちの「仕次ぎ」を意識して、これからの100年を展望した、まちづくりにアプローチします。また、次の3つの「力」を、未来を拓く重要な視点として位置づけ、全ての施策を遂行する上で、それぞれの視点を強く意識することとします。

☆「つながる力」を広げる視点

小学校区を単位とし、自治会、学校、NPO、企業等が参画する新しいコミュニティや様々な地域資源が結びつくシステムを構築しながら、内外との交流の輪を広げるとともに、先人の知恵や工夫を次代へ継承することなどで、地域と人を幅広く縦横に結びつける、「つながる力」を広げる視点を意識します。

☆「稼ぐ力」を高める視点

成長産業分野への対応力を強化しながら、新たな発想で土地の高度利用を促進し、時代を牽引する人材や企業の集積を進めるとともに、未来を拓く人材の育成とその能力が発揮される環境を整えることなどで、自立的な経済基盤を拡大させ、市民の暮らしを豊かにする、「稼ぐ力」を高める視点を意識します。

☆「ひきつける力」が輝く視点

那覇らしい景観の実現や安全安心で快適な交通環境を整備しながら、郷土の歴史や伝統・文化を受け継ぐとともに、楽しく子育てできる環境や皆が笑顔で働く環境を整え、まちの魅力を高めることなどで、人々に、訪れたい、暮らしたい、働きたいと思わせる、「ひきつける力」が輝く視点を意識します。



仕次ぎ と まちづくり

泡盛は、「仕次ぎ」と呼ばれる熟成方法によって、深みのある味わいへと進化します。まちづくりも同様に、先人の知恵を受け継ぎ、後世に引き継いで行くことで、まちに風格と躍動感が備わると考えます。